

福島民友愛の事業団 助成・奨励団体

ともに生き、ともに輝く

福島民友愛の事業団（理事長・中川俊哉福島民友新聞社社長）は本年度の「心身障害児者の支援活動に対する助成事業」に5団体、「福祉活動奨励賞」に5団体を選んだ。25日、福島市の福島民友新聞社で贈呈式を行う。福祉の向上に取り組む各団体の活動内容を紹介する。

心身障害児者の支援活動に対する助成事業には県内10団体から応募があり、中川理事長と理事の鶴巻正子福島大人間発達文化学類教授、評議員の関靖男県社会福祉協議会事務局長が審査した。福祉活動奨励賞は県社会福祉協議会から推薦を受けた団体選ばれた。

福祉活動奨励賞 5団体

つくる楽しさ教える

東日本大震災で被災した子どもたちの心をものづくりの楽しさで癒やしたいと、電子部品メーカーのOBらが中心となって設立、小学生を対象に相馬市の公民館で電子部品を組み立てる工作教室を開いている。教室では電子ピアノやロボット、ラジオなどを手作りする。参加した児童は延べ500人を超えた。

2年前からは小中学生が学ぶプログラミング教室も開催しており、教育機関と

は異なる立場で地域に学びの場を創出しようと、活動に励んでいる。中田稔代表は「発足から10年が過ぎ、メンバーは60～70代になった。元気なうちは活動を続けたい」と意気込む。

- ▽代表＝中田稔代表
- ▽所在地＝相馬市新沼字刈敷田20の42
- ▽発足＝2012年4月
- ▽活動状況＝市内の公民館で工作教室のほか、プログラミング教室を開催
- ▽連絡先＝080・1831・3149

キッズ工作スクール相馬 (相馬市)



子どもたちがものづくりの魅力に触れている工作教室

民友愛の事業団から助成金などを受けた
団体の代表者



10団体、活動たたえる

民友愛の事業団助成金・奨励賞

福島民友愛の事業団は25日、福島市の福島民友新聞社で本年度の助成金・奨励賞の贈呈式を行い、心身障害児者を支援する5団体と、県社会福祉協議会が推薦する福祉活動奨励賞の5団体の計10団体をたたえた。

理事長の中川俊哉福島民



中川社長から助成金を
受ける吉田理事長右

友新聞社社長が助成金などを手渡した後、「県民から寄せられた浄財を大切に使用してほしい。皆さんの活動は大変尊い。共に生き、共に輝ける世の中にするため、誇りを持って活動を続けてほしい」とあいさつした。

各団体を代表してNPO法人ぴいかあぶら(郡山市)の吉田一也理事長が「子どもたちやその家族が安心して暮らせる環境づくりに役立てたい」と謝辞を述べた。

◇助成団体 ▽NPO法人ままはーと(いわき市) NPO法人富夢富夢ドリムハウス富夢富夢(喜多方市) NPO法人ぴいかあぶら(郡山市) シャローム福祉会まちなか夢工房(福島市) 一穂ボーレボーレ(福島市)

◇福祉活動奨励賞 ▽国見町レクリエーション協会

(国見町) 折紙愛好会(塙町) 河東町ボランティアアクト(相馬市) 大川そば愛好会(下郷町) キッズワークショップ(相馬市)